

安全対策・衛生対策

救急救命講習会

- ①緊急連絡体制や対応マニュアルを整え、インストラクター・民泊先・宿泊施設などに周知徹底しています。また、応急処置や緊急時の対応関係者への連絡・相談などの対応マニュアルを作成し、各関係先に配布しています。
- ②体験場所や平時の危険箇所、災害時の安全対策に努めています。
- ③民泊家庭には、食事・入浴・トイレ・寝具等に係る衛生面に留意するよう指導しています。



衛生安全講習会



- ④民泊家庭の火災等の予防には万全を期すべく、ガス・ガソリン・灯油等の危険物管理に怠りなきよう指導しています。
- ⑤すべての受入れ家庭やインストラクターに対し、体験や民泊のほか、上記①～④に掲げる安全対策に関する講習の受講を義務付け、定期的にそれらの講習会を実施しています。

⑥安全管理には最大限の対策と指導を行っていますが、万一の場合に備え、傷害保険や賠償責任保険に加入しています。

施設賠償責任	対人 1名1億円（1事故1億円） 対物 1事故 1,000万円
生産物賠償責任	対人 1名1億円（1事故1億円） 対物 1事故 1,000万円
受託物賠償責任	対物 1名3万円（1事故 30万円）

- ⑦送迎等において、自家用乗用車に乗車の場合は、当該車両の自動車保険にて対応しています。
- ⑧上記①～⑦に掲げる安全対策は「土佐れいほく観光協議会」が責任を持って対応しています。
- ⑨その他、品質向上に関する取り組み。

先進地視察研修



インストラクター養成講習会・受入実践研修会



実施までの流れ

実施までの流れについて

■実施までの流れ

土佐れいほく観光協議会では、80名までの小・中・高校生の受け入れを右記のフローチャートのスケジュールで行っています。なお、生徒の皆様が有意義な体験となるよう、民泊家庭別班編成やアレルギー調査票などの作成をお願いしています。ご協力の程よろしくお願いいたします。

①申込・受付（予約）

お申込の際は、学校名、希望日、泊数、人数、予約・仮予約を記載し、FAXにてお申してください。

※希望日は最大3件まででお願いします。

②下見の実施

ご連絡いただいた希望日で民泊家庭、本部宿泊所、ラフティング実施場所等を手配し、当日は当協議会職員が現地をご案内いたします。

③名簿等の送付

民泊家庭を決定後、次の名簿及び調査票をお送りいたします。帳票は1ヶ月前までにご提出いただくようお願いしています。

(1) 民泊家庭名簿・アレルギー等調査票の送付

(2) 民泊家庭別班編成作成の依頼

※ラフティング体験を行う場合は、参加承諾書、参加者名簿の提出が別途、必要となります。

④民泊の実施

(1) 民泊体験

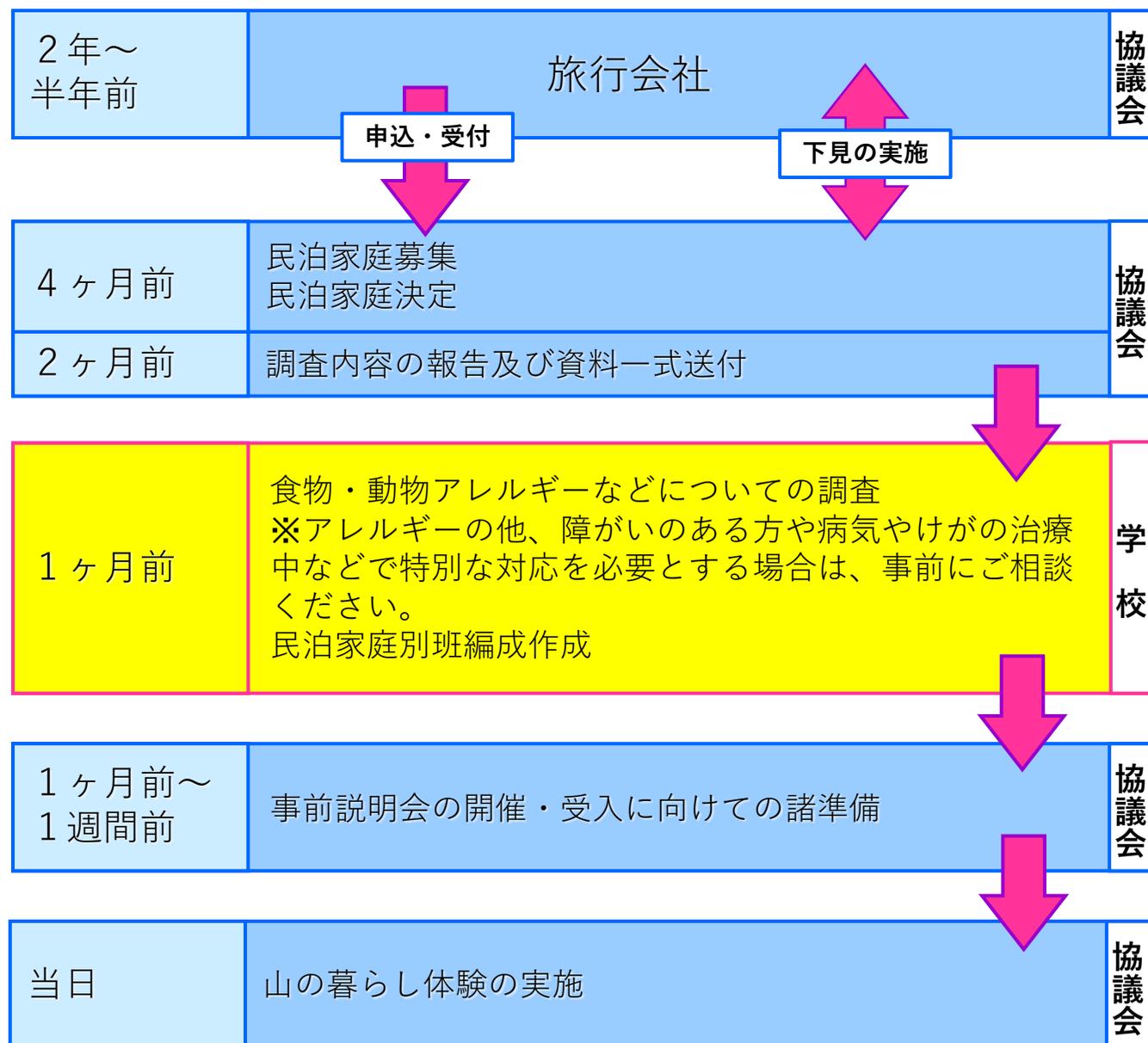
1軒あたり3～5名で食事作りや後片付けも一緒に行っていただきます。

(2) 山里の暮らし体験（家業体験）

半日または一日でそれぞれの民家で家業を手伝います。

(例) 畑の草取り・野菜の収穫・そば打ち・こんにゃく作り・まき割り・家畜の世話・炭焼き・木工細工等（詳しくは、パンフレットをご覧ください。）

■実施フロー



※下見内容

入離村式会場、民泊家庭訪問、本部宿の確認、ラフティングスタート・ゴール地点確認、着替え施設確認など

■名簿・調査票等の作成について

土佐れいほく地域の民泊では、生徒の皆様が安全・安心にお過ごしいただけるよう、受け入れの約2ヶ月前には、食物アレルギーなどについての調査を行っています。また、農家での体験が有意義なものとなるよう、民泊家庭別班編成や自己紹介カードの作成をお願いしています。

①民泊の班分けについて

・受け入れの約2ヶ月前に受入人数、体験内容等を記載した民泊家庭名簿をお送りいたします。

・その名簿をもとに生徒の班分けを行い、同送の宿泊者名簿の作成をお願いします。

【注①】家庭での体験内容はあくまでも予定です。天候などにより変更になる場合があります。

【注②】民泊家庭の動物飼育、喫煙者有無、そば打ち体験有無の調査結果も併せて表記しています。アレルギー該当の生徒さんの班分け時にご注意下さい。

また、同時期に以下の調査票もお送りしますので、作成をお願いします。

②要配慮リストについて

・班ごとに、アレルギーや持病等のリストの作成をお願いします。記載内容は、次のような事項をご記入いただくこととなります。

【例①】卵アレルギー：ソーセージなどの加工品もダメ。

【例②】犬アレルギー：触らなければよいので屋外飼育は問題ない。

【例③】てんかん：普段の生活に配慮は不要だが、発作時には救急搬送要。

※ご相談に応じて、引率者が付き添いで民泊する場合や、事前に受入家庭と保護者が直接連絡を取り、対応方法について相談させていただく場合があります。

いずれの場合も「土佐れいほく観光協議会」へ必ずご相談下さい。

■持ち物について

③持ち物について

○シャンプー、リンス、石鹸（ボディソープ）は民泊家庭で用意しています。
その他のアメニティ、タオル、バスタオルなどは各自でご用意下さい。

○体験活動がしやすく、多少汚れても気にならない服装の用意をお願いします。
・農作業、野山での体験活動では、安全面を考慮して長袖、長ズボンは必須です。
・体操服がない場合は汚れても構わない長袖、長ズボンをご準備下さい。
・運動靴は動きやすく、汚れても構わない靴でお越し下さい。

○防寒具（薄手のジャンパーなど）

・山間部の為、昼夜の気温差が激しく朝晩10℃以下になるところもあります。
室内用の上着も併せてご準備下さい。

○その他

・体験活動に必要なもの（帽子・軍手・雨合羽など）は、可能な範囲で持参していただくようお願いします。

